

Daily Macro Economic Insights

景気動向指数(2023年10月分速報)

— 一致指数は緩やかな上昇が続くが、先行きには懸念も —



PwC Intelligence チーフエコノミスト、執行役員 片岡 剛士
シニアエコノミスト 伊藤 篤

一致指数は緩やかな上昇が続く

内閣府から2023年10月の景気動向指数が公表された。10月のCI速報値(2020年=100)は先行指数108.7、一致指数115.9、遅行指数106.3となった。先行指数は9月から0.6ポイント下降して2か月連続の下降、一致指数は9月と比較して0.2ポイント上昇して3か月連続の上昇、遅行指数は9月から0.1ポイント下降して3か月ぶりの下降となった。

一時的要因による振れの影響を除くため、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均の前月差をみると、CI一致指数の3か月後方移動平均は2か月振りの上昇、7か月後方移動平均は7か月連続の上昇となった。CI一致指数の動きから機械的に判断される基調判断は「改善を示している」となる。

図表1は一致指数の前月差と一致指数を構成する各指標の寄与度をみている。10月の前月差はプラスとなったが、一致指数を構成する10指標のうち5指標がプラスであり、投資財出荷指数、有効求人倍率、生産指数といった指標が前月差の拡大に寄与している。逆に鉱工業用生産財出荷指数、商業販売額(小売業)、輸出数量指数はマイナスの寄与となった。

今後の展開については、製造工業生産予測調査の結果から考えると、生産や出荷は一進一退となり、年内にかけて一致指数は横ばい圏内の動きとなる可能性が高そうだ。

図表1: 一致指数の推移とその内訳

	一致指数		生産指数 (鉱工業)	鉱工業用 生産財 出荷指数	耐久 消費財 出荷指数	労働投入量 指数 (調査産業計)	投資財 出荷指数 (除輸送機械)	商業 販売額 (小売業)	商業 販売額 (卸売業)	営業利益 (全産業)	有効求人 倍率 (除学卒)	輸出数量 指数	
	指数	前月差											
	前月差の 寄与度												
2021年	7	109.3	-0.8	-0.20	-0.04	-0.24	-0.04	-0.27	0.23	-0.13	-0.12	0.15	-0.19
	8	106.8	-2.5	-0.45	-0.46	-0.61	-0.19	-0.03	-0.56	-0.09	-0.12	0.02	0.00
	9	104.7	-2.1	-0.45	-0.46	-0.62	0.09	-0.13	0.26	-0.18	-0.12	0.14	-0.63
	10	106.8	2.1	0.35	0.36	0.55	0.06	-0.00	0.14	-0.12	0.65	0.02	0.12
	11	111.4	4.6	0.73	0.77	0.90	0.03	0.22	0.10	0.40	0.63	0.28	0.54
	12	111.7	0.3	-0.21	-0.09	0.14	0.08	-0.01	-0.07	-0.29	0.57	0.15	-0.03
2022年	1	110.9	-0.8	-0.10	-0.33	-0.49	-0.06	0.10	-0.01	0.07	-0.19	0.28	-0.02
	2	111.3	0.4	0.19	0.33	0.29	-0.13	-0.16	-0.21	-0.04	-0.19	0.15	0.10
	3	111.7	0.4	-0.04	-0.05	-0.07	0.26	0.05	0.17	-0.10	-0.20	0.28	0.06
	4	111.9	0.2	-0.05	-0.08	-0.11	0.08	0.25	0.25	-0.03	0.07	0.15	-0.32
	5	111.3	-0.6	-0.31	-0.33	-0.48	-0.10	-0.08	0.06	0.29	0.07	0.15	0.13
	6	113.6	2.3	0.56	0.52	0.71	0.25	0.25	-0.23	-0.13	0.07	0.29	0.04
	7	113.9	0.3	0.08	0.03	0.26	-0.28	0.19	0.10	-0.23	-0.10	0.15	0.05
	8	115.2	1.3	0.20	0.00	-0.14	0.17	0.42	0.18	0.31	-0.10	0.43	-0.13
	9	114.5	-0.7	-0.06	-0.15	0.03	0.00	-0.46	0.08	-0.10	-0.10	0.15	-0.05
	10	114.2	-0.3	-0.24	0.02	-0.09	-0.16	-0.11	-0.04	-0.21	0.13	0.29	0.06
	11	113.9	-0.3	0.00	-0.09	0.25	0.02	-0.28	-0.20	-0.10	0.13	0.15	-0.19
	12	113.6	-0.3	-0.08	-0.23	-0.08	0.00	0.15	0.14	-0.06	0.13	0.15	-0.37
2023年	1	111.9	-1.7	-0.39	-0.40	-0.07	-0.09	-0.57	0.13	-0.19	0.14	-0.11	-0.12
	2	114.5	2.6	0.51	0.53	0.34	0.17	0.53	0.24	0.09	0.14	-0.11	0.11
	3	114.5	0.0	0.04	-0.05	0.44	0.07	-0.13	-0.04	-0.12	0.14	-0.25	-0.09
	4	114.8	0.3	0.10	0.06	0.01	-0.08	0.05	-0.19	-0.12	0.22	0.03	0.23
	5	115.2	0.4	-0.22	-0.19	0.15	0.37	0.11	0.08	0.13	0.22	-0.11	-0.07
	6	116.0	0.8	0.35	0.35	0.07	-0.02	0.03	-0.02	-0.24	0.22	-0.10	0.10
	7	114.9	-1.1	-0.26	-0.16	-0.51	-0.42	-0.44	0.15	0.09	0.21	-0.10	0.35
	8	115.4	0.5	-0.09	0.11	0.28	0.30	0.05	0.00	0.05	0.20	0.04	-0.44
	9	115.7	0.3	0.07	0.00	-0.07	-0.10	-0.20	-0.08	-0.05	0.20	0.05	0.49
	10	115.9	0.2	0.18	-0.22	-0.02	-0.01	0.30	-0.27	0.11	0.04	0.23	-0.14

出所: 内閣府より筆者作成。

先行指数は2か月連続の下降、内需を刺激する経済対策が必要

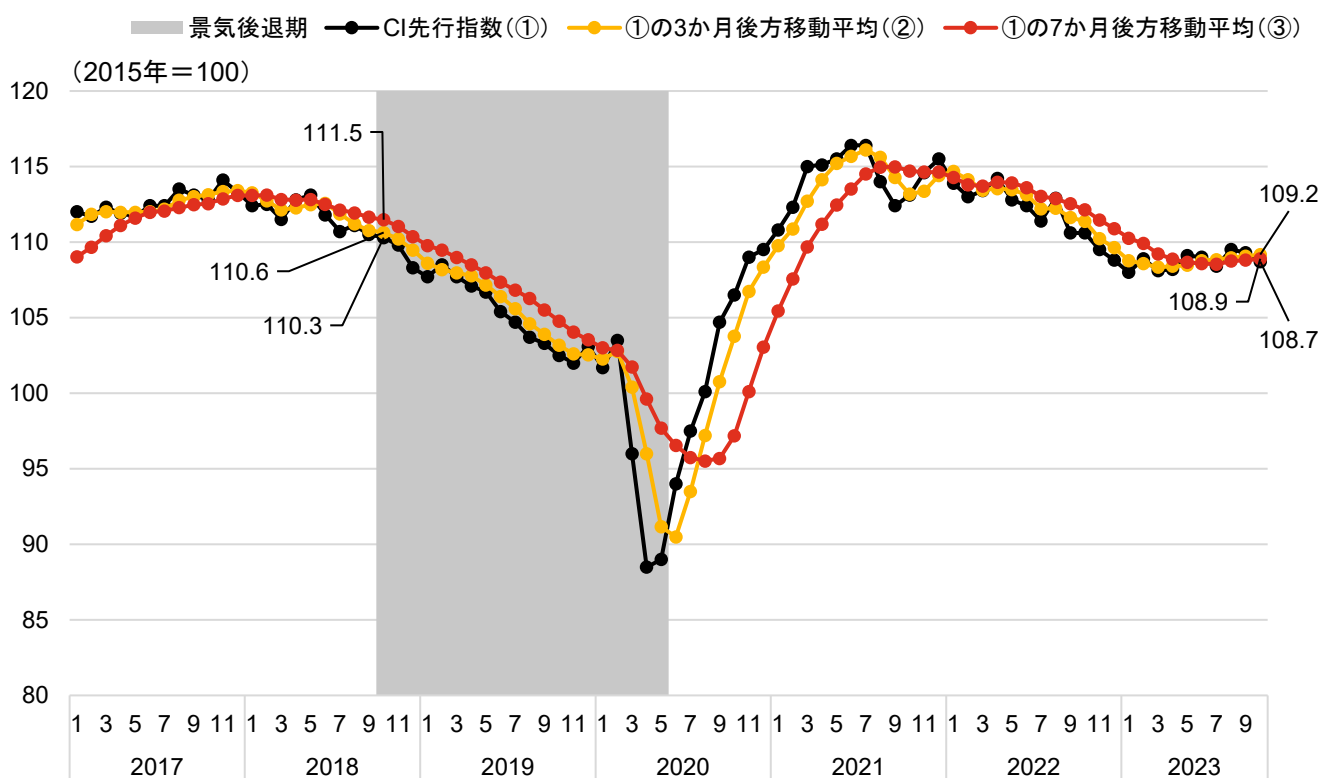
10月の先行指数をみると、3か月後方移動平均は0.1ポイント上昇し、7か月連続の上昇となり、7か月後方移動平均は0.09ポイント上昇して、こちらは3か月連続の上昇となった。上昇トレンドは続いているものの、先行指数が2か月連続で下降したこともあって、上昇トレンドそのものは弱まってきている。

先行指数を構成する指標の動きをみると、最終需要財在庫率指数、新規求人数、消費者態度指数、マネーストックが改善に寄与した。他方で、鉱工業用生産財在庫率指数、東証株価指数、中小企業売上げ見通しDIが減少に寄与した。

図表2はこれまでのレポートと同じく、景気後退期(2018年10月から2020年5月まで)を含んだ形で、2017年から2023年10月までの先行指数の推移をみている。景気後退が始まった2018年10月のCI先行指数の値は110.3、3か月後方移動平均は110.6、7か月後方移動平均は111.5であった。2023年10月の値はそれぞれ108.7、109.2、108.9であり、いずれも2018年10月と比べて低い値となっている。

先程述べたとおり、先行指数の上昇トレンドは強まることなくほぼ横ばい状況で推移している。懸念材料が多い海外経済動向の下、内需を刺激する経済対策をしっかりと講じることで景気の拡大基調を確固たるものにする、所得と支出の安定的拡大の下でマイルドな物価上昇率を維持することが引き続き必要と言えよう。

図表2: 先行指数の推移



出所: 内閣府より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、執行役員
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:03-6257-0700

©2023 PwC Consulting LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.